

□ ■(株)ひろせプロダクト(安来市)、タイへ医療資材を寄付 ■ □

こんにちは、島根ビジネスサポートオフィスの神谷です。さる9月6日(月)、タイ工業省で、安来市の株式会社ひろせプロダクト様の子会社(HIROSE PURODUCTS (THAILAND) CO., LTD.)より寄付いただいた医療資材の贈呈式がありました。今回はそのご報告と現在のタイのコロナの感染状況についてレポートします。



工業省での贈呈式の様子(写真中央はタイに駐在されている(株)ひろせプロダクト川合様とタイ工業省コブチャイ事務次官)

<タイのコロナの状況>

タイでは6月下旬よりコロナの感染が拡大し、ピークとみられている8月13日には1日あたりの新規感染者数が23,000人を越え、病床が不足しているため、野戦病院のような臨時の病床を用意し、国際線の運

2021年8月

休が続くバンコク都内のドンムアン空港国際線ターミナルにも段ボール製のベッドが1800床並べられる事態となっていました。

タイ感染者数	累計感染者数	前日比	現在の感染者数	累計死亡者
7月1日	265,971人	5,533人	55,269人	2,080人
8月1日	615,314人	18,027人	205,002人	4,990人
9月1日	1,219,531人	14,802人	166,922人	11,841人

ワクチンの接種についても調達が進まず、日本と同時期に接種を開始したものの、接種率は9月に入っても伸びておらず、1回目と2回目の接種の間隔を12週間あける、1回目シノバック・2回目アストラゼネカというミックスでの接種を行うなど様々な試みが行われています。

9月7日現在	接種開始日	累計接種回数	1回以上接種割合	接種完了割合	ワクチン契約数(回数)	接種開始済のワクチン
日本	2月17日	1億3306万回	58.3%	47.3%	4億1400万	ファイザー・モデルナ・アストラゼネカ
タイ	2月28日	3177万回	33.5%	11.1%	1億4120万	シノバック・シノファーム アストラゼネカ・JJ・モデルナ・ファイザー

もちろん不足しているのは、病床やワクチンだけではありません。重症化や人工呼吸器を必要とされる患者が急増したため、医療資材も著しく不足していました。日本も8月感染者数が増加しましたが、死亡者数は1日平均30-40名、タイは1日平均220-300を推移しています。患者の呼吸を補助するための酸素及び吸入器が不足しているとみられています。

<医療資材の寄付>

このようなタイの医療現場の窮状を知った(株)ひろせプロダクト社長の鉄本様より「新型コロナで苦しんでいるタイ王国に何とかご恩返しをしたい」というお申し出があり、タ



寄贈した医療資材とともに。写真左より島根県庁バンコク駐在杉原氏・ひろせプロダクト川合様、ひろせプロダクトタイランド Nattanicha 様

2021年8月



贈呈式でご挨拶されるひろせプロダクトタイランド川合様、Nattanicha 様

イ工業省にも席を置いている島根県庁杉原氏はタイ工業省を通じて医療現場で求められているものを確認、バンコク都近隣の7県の医療機関に107万パーツ（約360万円）相当の医療資材（5リットル酸素濃縮装置、医師用・スタッフ用の感染防護服、髪・靴の感染防止カバー、N-95マスクなど）を寄付いただくことになりました。

贈呈式にはタイ工業省の事務次官をはじめ、近隣県の警察署・保健機関などが列席、タイに駐在されている(株)ひろせプロダクト川合様より日本にいらっしゃる鉄本社長の代

理として「弊社は2018年にタイ現地法人を設立し、竹や木製品を販売しております。日本の会社である弊社を受け入れて頂いたタイの方々には常々深い感謝の気持ちを持っておりました。COVID-19が1日でも早く収束し、タイに以前のような活気が戻ることを願っております。そして、タイの皆様により良い弊社の商品をお届けできるようこれからも精進してまいります。」とのあたたかいメッセージをいただきました。

コプチャイ事務次官からも「株式会社ひろせプロダクトは竹串や箸、スプーンフォークなど竹や木製品を製造・輸出している会社です。日本市場ではマーケットシェア No.1 になっています。ベトナム・フィリピン・タイにも展開しています。現在、タイでは販売活動だけを行っているようですが、嬉しいことに、数年後にCOVID19が治まれば、タイに工場を設立し、製造活動を行う予定があることも聞きました。その時に、工業省も力になりたいと思います。」と感謝とともに今後の事業支援に向けて力強い言葉をいただきました。

タイへの感謝を丁寧に伝えられた今回の(株)ひろせプロダクト様のお気持ちは、タイの皆さんに感謝と歓迎をもって受け入れられたと思います。こうした行動をご決断いただいたことに、私も心からの敬意をこめて、御礼申し上げます。



写真中央) 贈呈した医療資材を積んだ車が各地に出発するところ。コプチャイ事務次官とひろせプロダクト川合様、ひろせプロダクトタイランド Nattanicha 様

<株式会社ひろせプロダクト会社概要>

■日本本社

会社名／株式会社ひろせプロダクト

住所／〒692-0412 島根県安来市広瀬町下山佐 356-3

創立／1999年9月

資本金／1,500万円

代表者／鉄本学

業務内容／竹串、木串、アイスクリームスティック・アイスクリームスプーン（木製）、エステ用スパチュラ、舌圧子（木製）の設計・開発及び製造販売

■タイ法人

会社名／HIROSE PRODUCTS (THAILAND) CO., LTD.

住所／2 JASMINE Bldg, 22nd Floor, Room C, Soi Prasarnmitr(Sukhumvit 23),
Sukhumvit Road, North Klongtoey, Wattana, Bangkok, Thailand

創立／2018年

業務内容／Logistics and sales in Thailand and overseas

会社名／EVERGREEN THAI CO., LTD.

住所／2 JASMINE Bldg, 22nd Floor, Room C, Soi Prasarnmitr(Sukhumvit 23),
Sukhumvit Road, North Klongtoey, Wattana, Bangkok, Thailand

創立／2020年

業務内容／Sales in Thailand and overseas



GO GREEN
Save Mother Earth

☆☆ベトナムからの便り☆☆

～ホーチミンを抜いた！ベトナム平均所得首位のビンズン省に注目～

こんにちは。島根ビジネスサポートオフィスの伊藤です。

2021年5月にベトナムの大手ニュースサイトがとても興味深い記事を発表しました。ビンズン省がホーチミンやハノイよりも1人当たりの平均所得が高いと。ホーチミンや首都ハノイは聞いたことがあるかもしれませんが、ビンズン省については、ベトナムに関わりが無いと聞き慣れない方も多いと思います。そんなビンズン省で今何が起きているのか？！多くの日系企業が進出している工業団地や、現地で行われている都市開発プロジェクトについてお伝えします。

Bình Dương có thu nhập bình quân đầu người cao nhất cả nước, hơn cả TP.HCM và Hà Nội

22/05/2021 18:59 GMT+7

TTO - Kết quả khảo sát mức sống dân cư năm 2020 ghi nhận thu nhập bình quân của người dân đạt 4,23 triệu đồng/tháng, trong đó Bình Dương là địa phương có thu nhập bình quân đầu người cao nhất cả nước, đạt hơn 7 triệu đồng/tháng.



- Căn tăng thu nhập cho người dân
- Chỉ tiêu tăng trưởng năm 2021 là 6%, GDP bình quân đầu người 3.700 USD
- GDP bình quân đầu người Việt Nam thua thế giới 8.400 USD

大手ニュースサイト VnExpress の見出しより

【ビンズン省とは？】

ホーチミンを中心とした南部経済圏の主要省の一つで、ホーチミン市内中心部から北へ約 30km、車で 1 時間弱のところにあります。省都であるトゥーザウモット市が経済や文化、教育、政治の中心を担い、人口は全国



イオンモールビンズンキャンナリーの様子

6 番目の 260 万人を有する省です。将来的には政府の中央直轄市へ格上げ予定がある為、大規模な経済政策に加え、ハイテク産業、物流分野などにおける海外からの投資誘致政策にも注力しています。また、省内には数多くの工業団地があり、鋳工業における生産高においても全国トップレベルを堅持しています。2014 年にはイオンモールビンズンキャンナリーも誕生し、それまでホーチミンまで買い出しに出かけていた人達は省内で買い物をするようになり、生活が豊かになりました。

【1人当たり月間平均所得は 700 万 VND(約 3 万 3000 円)超】

そんなビンズン省は、ベトナム統計総局が全国の約 4 万 7,000 世帯を対象に行った 2020 年の世帯生活水準調査によると、ビンズン省 1 人当たりの月間平均所得は 700 万 VND(約 3 万 3,000 円)超で、ホー

2021年8月

チミン市の654万VND(約3万1,000円)、ハノイ市の598万VND(約2万8,300円)を上回り、全国で首位となりました。この要因の一つとして上げられているのは、省内にある多くの工業団地です。

【ビンズン工業団地と最低賃金の設定】

現在省内には48もの工業団地があり、これはベトナム南部の工業団地総面積の1/4を占めているとも言われています。代表的な工業団地である、総面積500ヘクタールからなるベトナム・シンガポール工業団地(VSIP1)は、1996年にシンガポールとベトナムの国営企業同士の合弁企業として設立され、日系だけでも約30社の工場があります。また、このVSIPの成功モデルに職住接近型総合開発の新しいコンセプトを取り入れた6,000ヘクタールのマスタープランを有するミーフック工業団地は、複合開発により工業生産だけでなく、サービス、商業、住宅も併せ持ちます。

また、工場が多くあることから、省内に住むベトナム人は地方出身者が多く、メコンデルタ地域から出稼ぎに来ている人もいれば、北部や中部から来ているベトナム人もいます。最近では、山岳地帯の少数民族やカンボジア人なども出稼ぎに来ています。そんなビンズン省の最低賃金の設定はホーチミンと同じ第一種地域(442万VND(約2万1,000円))に設定されているため、地方よりも平均所得が高くなっています。



ミーフック工業団地の様子

【ビンズン新都市】

日本は現在、ビンズン省に投資する世界 64 カ国の中で最大の外国投資家であり、製造業を中心に投資・進出が続いています。中でも、ベカメックス・ビンズン東急による新都市開発プロジェクトが注目されています。1,000 ヘクタールもの広大な土地を有する 300 万人規模のこの新都市には、マンション、商業施設にオフィスビル、学校、病院、公園、国際会議場など、都市生活に必要な施設が揃います。日本の東急グループベカメ



ビンズン新都市の完成予想図 (BECAMEX TOKYU 社より引用)

ックス東急社が手がける、東急ビンズンガーデンシティは、ベトナム国内でも話題を集める一大プロジェクトで、日系企業初となるベトナム国内での都市開発事業です。東急ビンズンガーデンシティには、高層マンションとなる「ソラ・ガーデンズ」をはじめとした 7,500 戸以上の住宅や、各種サービス施設も充実しており、日本品質の都市環境で快適な生活を提供してくれる。ベトナムでこれまで見ることのなかった未来都市が誕生します。

【最後に】

ビンズン省は、4 月末から広がった新型コロナの国内第 4 波で最も影響が深刻なホーチミン市に続き、全国で 2 番目に市中感染者数が多い地域となっています。陽性者が出た工場は営業停止となり、陽性者が出ていなくても、営業が出来る工場では従業員達はテントを貼り、家に帰らず工場内で寝泊まりをする工場隔離を行っています。そんな過酷な状況下においても仕事を続けるベトナム人従業員達に敬意を払いたいです。中国や韓国から工場をベトナムへ移転する企業が年々増える理由は、もしかしたら政治的リスクを避ける以外にも、ベトナム人従業員の仕事に対する責任感や親日国ということも影響しているのではないかと感じます。特に今回取り上げた工業団地の VSIP とミーフックは、いずれも日本人担当者が常駐しており、コロナ前において空き区画が少ない人気の工業団地となっています。今後、ビンズン新都市の発展とコロナの規制緩和に沿って、より日系企業の入居率が高くなることが想像できます。



工場内でテントを張り寝泊まりする様子

□ ■タイの BCG (バイオ・循環型・グリーン) 経済モデル ■ □

こんにちは。島根ビジネスサポートオフィスのタイ人スタッフ、ニンです。

最近、タイ政府のイベントや記者会見などで「BCG (バイオ・循環型・グリーン) 経済モデル」というキーワードを耳にすることが増えてきました。今回は、この「BCG」とは一体どういう意味なのか、この経済モデルがタイの経済にどのような影響を与えるのかについてご紹介したいと思います。

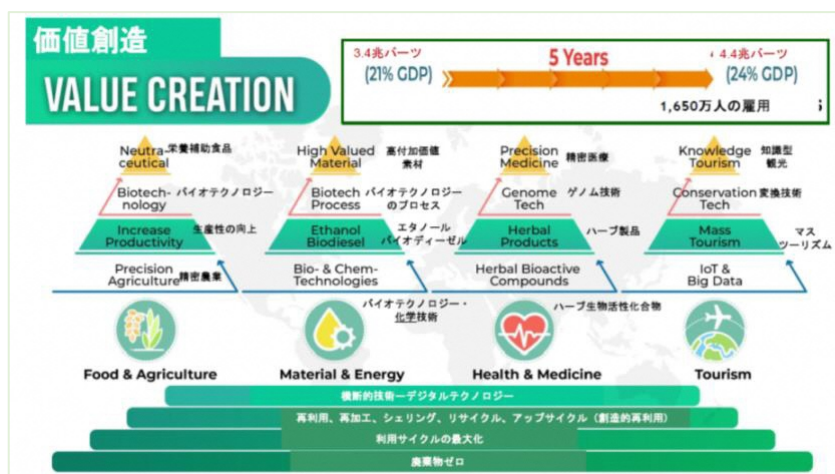
【BCG (バイオ・循環型・グリーン) 経済モデルとは？】

BCG 経済モデルは、「バイオ経済」、「循環型経済」、「グリーン経済」の考えを統合した、より包括的で持続可能な成長のために、タイ政府が推進している新たな経済モデルです。

上記の3つの経済モデルはそれぞれ、「バイオ経済」は再生可能な生物資源の生産と、そういった資源の付加価値製品への転換を通じた経済活動、「循環型経済」は資源の再利用とリサイクルを通じた経済活動、「グリーン経済」は経済・社会・環境のバランスを保ち、持続可能な開発につながる経済活動を意味しています。

この BCG 経済モデルでは、タイが 2036 年までに高所得国になることを目標とした Thailand 4.0 において推進している 10 の産業分野のうち、特に次の4つの分野に焦点を当てています。

①食品・農業 ②エネルギー・素材 ③ヘルスケア・医療 ④観光 現在、これら4の分野の経済価値は、合計で 3.4 兆バーツ (約 12 兆円) 程で、GDP の約 21%を占めています。



出典：タイ投資委員会(BOI)のセミナー資料より、https://image.mfa.go.th/mfa/0/YLjhuT4Hho/03_-BOI.pdf

【タイ政府が BCG 経済モデルを推進する理由とは】

多くの方がご存じの通り、タイは農業依存国家の 1 つであり、世界での競争力を保ち続けることが出来たのは、農産物の輸出に依るところが大きいです。労働省雇用局（DOE）の情報によると、2018 年時点で農業に従事する労働者の割合は全体の 32%を占めています。ですが近年、その数は、低収入の問題により、特に若年の労働力において継続的に減少しています。加えて、医療技術の進化に伴ってタイも高齢社会に入ったため、この農業従事者の高齢化への対応も重要な課題となっています。

また、新型コロナウイルスの影響で、国内総生産（GDP）の 20%を占める観光業など多くの産業が斜陽化し、回復の見通しも不透明な状況にあります。こうした背景により、経済を少なくともコロナ前の水準に戻すには、産業の高付加価値化とタイの内側からの産業を強化することが必須である、というのが政府の考えです。

さらに、BCG 経済モデルは、国連持続可能な開発目標（SDGs）や、前プミポン国王が提唱したタイの社会経済開発である「足るを知る経済（SEP）」とも符合しているため、2021 年 1 月、政府はタイランド 4.0 と同様にこの BCG 経済モデルを重要戦略に位置付け、新たな国家戦略として発表しました。

この経済モデルの確立のために、タイ政府は、以下の通り、2021 年から 2026 年までの 5 年間にわたる戦略計画も立ち上げました。

2021 年から 2026 年までの BCG 経済モデルの戦略

戦略①	環境保全と資源の使用のバランスを取り、資源・生物多様性の持続可能性を構築
戦略②	技術革新や、テクノロジー等を用いた地域経済の発展
戦略③	BCG 経済モデルに沿った産業計画による持続可能性の向上
戦略④	国際社会の変化に対応する能力の向上

各経済セクターにおける既存課題

 <p>Food & Agriculture</p>	 <p>Material & Energy</p>	 <p>Health & Medicine</p>	 <p>Tourism</p>
<p>人口の32%が農業セクターに従事</p>	<p>エネルギー消費量の78.91%を輸入</p>	<p>US\$ 104.2 億の額の医療品や医薬品を輸入</p>	<p>3.06 兆バーツの収入がツーリズムから発生 (世界第4位)</p>
<p>農耕地の90%の土地利用が6大作物専用: コメ, サトウキビ, キャッサバ, ゴム, 油ヤシとトウモロコシ</p>	<p>国内エネルギー生産量の僅か16.74%が再利用エネルギー</p>	<p>2050年には超高齢化社会となり人口の20-30%に達する</p>	<p>ツーリストの80%または3,900万人は8県に集中</p>
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 変動性の高い作物価格と低所得農家 減少し続ける資源 農業従事者の高齢化 	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 国家のエネルギー確保 輸入エネルギーの減少 	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢化社会 輸入依存型の医療機器と医薬品 	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 過剰ツーリズム: ツーリストの数がロケーションの容量超過 天然資源の減少

出典：タイ高等教育科学研究イノベーション政策協議会事務局（NXPO）の情報より、<https://www.nxpo.or.th/th/bcg-economy/>

【農業】

前述の通り、タイの農業従事する労働者の割合は全体の 32%程、人数にして約 1,200 万人おり、農耕地の 90%の土地利用は、コメ、サトウキビ、キャッサバ、ゴム、油椰子、トウモロコシの 6 大作物を栽培しています。これらの作物の価格は、気候や世界市場の供給に応じて変動するため、農家の平均収入は低いことがタイの農業が抱える課題となっています。収穫量を定量化することで農家の収入を増やためには、大量の資源が必要となるため、これにより自然環境資源の劣化が懸念されます。さらには、高齢化する農業従事者の現状にも合いません。こういった点から、安全性・品質の向上により農作物を高付加価値化することを打開策とし、農業の高度化が推進されています。

【エネルギー】

エネルギーは国の経済を動かす重要な要素のため、長期的な需要に対して十分な供給が必要となります。投資委員会（BOI）の情報によると、タイはエネルギー消費量の 78.91%を輸入に依存しています。また、国内エネルギーの生産量のうち僅か 16.74%が再利用エネルギーです。

輸入に大きく依存する現状から脱するために、政府は 2036 年までにエネルギー消費に対する再生可能エネルギー利用率を 30%へ引き上げる「代替エネルギー開発計画（AEDP）」を打ち立てています。

【ヘルスケア・医療】

ヘルスケア・医療産業については、2017年時点でタイがヘルスケアにかかる費用は約4,000億バーツとなっています。しかし、今後完全に高齢社会に入ると、1.4兆バーツにまで増加すると予想されています。

タイは、年間1,000億バーツ以上の医療製品を輸入しており、その輸入品の4分の3は、ワクチンなどバイオ医薬品(Biopharmaceutical)です。このため、輸入量を減らすためには、製品登録のサポートを含めて医薬品・ワクチン・医療機器関連の研究から製造までの医療関連部門への投資を加速すべきであると、政府内では議論がされています。

【観光】

タイは、豊富な天然資源や多様な生態系により国際的に有名な観光地となっています。2018年の外国人訪問者数は3,500万人以上で、世界の観光収入ランキングは4位(3兆バーツ)に位置していました。しかし、80%以上の観光客数は、バンコク、チョンブリ、プーケット、クラビ、スラートターニー、ソンクラ、パンガー、チェンマイの8つの県に集中しており、天然資源や環境の劣化が深刻な問題となっています。また、旅行先が特定の地域に集中することにより、各地域の観光客の許容量を超過する状況となっています。

このようなことから、政府は上以外の各地域の強みをアピールし、観光地の環境を保ち、生態系を保全・管理するためにテクノロジーやイノベーションを活用することを検討しています。このため、観光分野がBCG経済モデルに含まれています。

最後に

過去10年間で、タイの経済成長率は年平均3%に過ぎません。このような成長率では、社会的な不平等をなくし、2036年までにタイを「高所得国」へ移行することも有り得ないため、社会・経済的な開発を加速させる必要があります。

BCG経済モデルは、今後タイの主要経済基盤になるとされており、このモデルの導入により、今後5年間でGDPの25%に相当する、4.4兆バーツの付加価値を生み出すとされています。これ以外にも、1650万の新規雇用の創出や世界食料安全保障TOP5に入り、年当たり30万人の市民がバイオ医薬品へのアクセスが可能になるなど、経済に限らず多方面への影響が期待されているため、この後の動向に大きな注目が集まっています。

※別紙に、年内に開催予定のタイ・インドネシア・ベトナムの展示会情報をまとめました。

サポートオフィスでは、現地で開催される展示会へのアテンドも行っております。

関心のある展示会がございましたら、お気軽にご連絡ください。

担当 ; 神谷 靖子 Yasuko Kamiya
Address : 1 VASU1 Building, 12 FL., Room 1202/D, Soi Sukhumvit 25, Sukhumvit Rd., Klongtoey-Nua, Wattana, Bangkok 10110
Tel : +66-(0)-2-261-1058
Mobile : +66-(0)-89-200-7763
Mail : shimane-bizsup@aapth.com

▶ タイ経済指標

項目	単位	2018	2019	2020	2021
GDP 成長率	前年比 (%)	4.2	2.4	-6.2	2.5 (1~6月)
人口*	千人	67,869	68,021	68,152	68,161 (1月)
労働者の数*	千人	38,353	38,207	39,451	38,778 (6月)
失業率**	%	1.06	0.99	1.62	1.93 (6月)
最低賃金* バンコク	バーツ/日	325	325	331	331
チョンブリー		330	330	336	336
アユタヤー		320	320	325	325
ラヨーン		330	330	335	335
賃金：全国製造業の平均	バーツ	12,831	13,131	13,562	13,469 (6月)
インフレ率**	前年比 (%)	1.06	0.71	-0.84	0.85 (7月)
中央銀行政策金利*	%	1.75	1.25	0.50	0.50 (8月)
普通貯金率**	%	0.47	0.47	0.31	0.25 (8月)
ローン金利(MLR) **	%	6.32	6.29	5.60	5.42 (8月)
SET 指数*	1975年：100	1,563.8	1,579.84	1,449.35	1638.75 (8月)
バーツ/100円**	バーツ	29.26	28.48	29.33	28.95 (8月)
バーツ/米ドル**	バーツ	32.31	31.05	31.29	31.32 (8月)
円/米ドル**	円	110.4	109	106.8	108.3 (8月)
車販売台数 (1月からの累計)	台数	1,041,311	1,019,602	779,857	449,448 (7月)
BOI 認可プロジェクト	件数	1,469	1,500	1,501	801 (1~6月)
BOI 認可プロジェクト金額	10億バーツ	549.48	447.36	361.41	263.84 (1~6月)

*期末、**平均